

安倍政権、新たな土砂投入

3月25日

県民投票踏みにじる暴挙



超軟弱地盤で工事不可能

2月の県民投票で、辺野古新基地建設に「反対」の揺るがぬ民意が示され、今月19日には玉城デニー知事が安倍晋三首相と面会して土砂投入と工事の中止を再三求めたにもかかわらず、25日に民意をまったく無視し、中止するどころか埋め立て区域の拡大を強行したことは民主主義国家の名に値しない暴挙です。

大浦湾側の超軟弱地盤で、大規模な設計変更を迫られているのに加え、工事そのものが実現性もなく、費用も期間も不透明な工事は即中止すべきです。

全国から怒りの声を
玉城知事「激しい憤りを覚える」

岡田議員が一般会計予算案に反対討論

予算案の問題点を指摘し積極提案

4年間で結果を出すとした選挙公約について岡田議員は、市長が掲げるオール甲賀で未来に つなぐチャレンジプロジェクトの3つのテーマに沿って評価と問題点を指摘。

「子育て・教育」の分野では、小中学校へのエアコンとトイレ整備が今年の夏までに完成することは、わが党が繰り返し求めてきたことで評価するとし、学校給食費の父母負担の軽減・無償化や中学校卒業までの医療費の完全無料化の早期の実現、待機児童の解消、信楽での幼児健診、土山での乳幼児健診の早期再開を要望しました。

「一律に支給することは費用対効果が図れない」との市長の言葉は「今でも残念」と。介護サービスの充実や介護人材確保、介護保険料の引き下げなど市独自の施策の充実を求めました。

歳入、歳出の問題点について

合併特例債ありきの財政運営は、結果的に市民生活関連予算を圧迫するものにつながり、今後5年間で約100億円を使うことについて時間をかけた幅広い議論を提起しました。

ふるさと納税1億円を予算計上することの問題点、ふるさと納税にたよるのではなく、本来の地方交付金の在り方、国・県に対して財源確保に尽力することの必要性を強調しました。

歳出で、「税金の使い方として、あいコムこうか」への不要資産撤去への補助金の支出、県立施設である信楽窯業試験場移転先の「陶芸の森」入口の土地取得のあり方、土地使用料で、本来市が取得すべき土地に対して手が打たれていないことなどを指摘し、改善を求めました。

また、(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業で、誘致企業に産廃業者が予定されていることから地元で不安と反対の声が寄せられていることについて、市が責任ある役割を果たすよう求めました。

公立甲賀病院組合議会定例会

4月から地方独立行政法人としてスタートする公立甲賀病院組合議会が3月27日に開催されました。

地方独立行政法人となれば組合議会は事実上関与することがうすくなり、病院長他5人の理事会の運営に移行します。

小西議員は5議案のうち2議案に質疑し全議案に賛成。一般質問では経営状況、職員の働き方、救急の受け入れ状況、無料低額診療の実施などを取り上げました。発言通告による質疑、一般質問は小西議員のみ。



年金者組合甲賀支部と甲賀市が意見交換会

年金者組合甲賀支部は、3月27日に、1月30日に市長に提出した要望書に基づき市と意見交換会を開催。「コミバスを便利に、空き家にならないような対策を」など率直に意見交換。これには山岡議員も参加しました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2019年 3月 31日 第259号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696